



近視とは、近くがはっきり見え、遠くの景色などがピンボケした写真のように見えるという視覚の異常のことをいいます。近視は、通常、眼鏡やコンタクトレンズを使用して矯正します。しかし、眼鏡をかけられない人やコンタクトレンズを使えない人のために、近視の手術があります。

近視の手術は、角膜という目の表面をエキシマレーザーで削って、網膜に焦点が合うようにします。すると、眼鏡やコンタクトレンズなしでも、霧が晴れたように遠くがきれいに見えるようになります。

近視の手術を受けるためには、まず市民病院の眼科を受診してください。そこで、

蒲郡市民病院 眼科 医師◆大澤 毅

近視の手術って何？

手術の説明を聞いた後、手術の予約をして、検査をします。この検査は、手術が可能かどうかを判定するものです。

近視の手術は、20分ほどで終わり、入院せずに日帰りで行います。手術の時には、ほとんど痛みを感じませんが、手術後1～2日間は痛みが残ります。実際に、視力が回復してくるまでに1～2週間かかります。視力の回復は、近視の強さにもよりますが、0.7以上の視力になるのが90%以上、1.0以上が80%という報告があります。興味のある方は、ぜひ一度市民病院の眼科を受診してください。

「糖尿病教室9月」

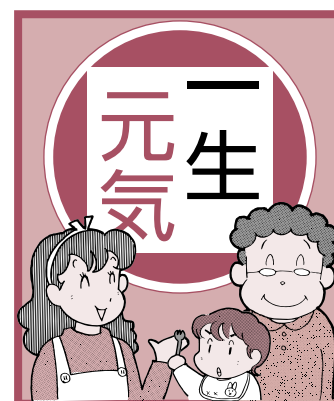
市民病院内科 ☎66・2211

ところ 市民病院講義室

(21日)は市民病院7階食堂

と き	内 容
15日(水)	糖尿病とは
16日(木)	日常生活の話
17日(金)	合併症、検査
21日(火)	食事の話
22日(水)	薬と運動の話

※各日ともに午後2時～3時



自分の子どもや兄弟・姉妹が、統合失調症などのこころの病気にかかった時、動揺しない人はいないと思います。特に、子どもならば「自分の育て方が悪かったのではないか」と思い悩んだり、本人の将来を悲観したり、兄弟・姉妹への影響を考えたりとつらい気持ちになる人が多いのではないのでしょうか。

もし、そのような状況になった時は、病気について正しく理解し、いろいろな情報を得て、病気と向き合い、少しずつ前に進んでいくことがとても大切です。それは、家族のゆとりや自信、さらにはこころの病気を持つ本人の安定にもつながります。また、家族の適

問合先 福祉課 ☎66・1106

精神障害者の家族のつどい

切な対応によって、再発を防ぐことができるという研究結果も出ています。とはいうものの、どうすればよいのかわからない人も多いのではないのでしょうか。そのため、保健所では、精神障害者の家族を対象に、隔月で「家族のつどい」を開いています。10数名の家族が集まって、学習会や講演会、交流会などを行っています。

内容は、病気への理解や福祉制度の話などさまざまです。こころの病気とつきあっていく上で、大切な事をみんなで学んでいます。また、なかなか他の場では話せない悩みや疑問などを、家族仲間同士で出し合うことによって、安心感を得られる場にもなっています。悩んでいる家族の方、一歩を踏み出して参加してみませんか。

家族のつどいについてのお問い合わせは、豊川保健所蒲郡支所地域保健課(☎69・3156)まで。